

第 21 回 新木地区「地域会議」議事録

令和 4 年 10 月 22 日（日）

- 開催日時： 令和 4 年 10 月 22 日(日) 10:00～12:00
- 開催場所： 新木近隣センター 多目的ホール
- 出席者： (紙面の都合により割愛)
- 議題： 振り込め詐欺防止に向けて

■ 議事

1. 開会挨拶

<地域会議事務局長>

おはようございます、これより第 21 回新木地区地域会議を始めさせていただきます。今回初めての方もいらっしゃると思いますので、地域会議のこれまでの活動について簡単に説明させていただきます。平成 27 年に地域のコミュニケーションを図るための会議体としてまちづくり協議会が中心となり第 1 回を開催しました。年に 3 回実施しており今年で 7 年目となり、今回は 21 回目となります。ご協力いただいている委員の皆様にはあらためて感謝いたします。

今回も前回に続き振り込め詐欺がテーマとして活発な意見交換ができたと思います。

2. 我孫子市より

<市民協働推進課長>

みなさんおはようございます。地域会議は平成 25 年に地域コミュニティ活性化プログラムとして発足し、これまで防災における避難所の協定、通学路の補修の提案、買い物支援などについての話し合いが行われ、市も協力してこれまで各地域で効果が出ております。発足から年数も経過し、地域会議の在り方／次の世代への考え方などもまとめていきたいと思っておりますので、今後ともご協力の程よろしく願います。

今回のテーマである振り込め詐欺ですが、地域全体での取り組みが効果的だと思っておりますので、皆様のご協力をよろしく願いしたいと思っております。

3. 特殊詐欺の現状と対応について

<我孫子警察署 生活安全課>

※以下、概略。(詳細は割愛)

- 今年の千葉県の振り込め詐欺は 391 件。我孫子市内では 19 件（10 月は 3 件）。
一件で 5000 万の被害もある。
- 昨日も還付金詐欺で 50 万の被害があった。
 - 我孫子警察署の警察官を名乗った。

- 普段から警察への協力をいただいている方だった。
⇒警察署を名乗られたら、一旦電話を切って警察に電話で確認してください。

● 対策例

- 最初に留守番電で応答させ、相手の声を確認してから受話器を取る。
⇒犯人は声を録音されることを嫌がるので、留守番電話だと切ることが多い。
- 電話の録音機器
⇒とても効果がある。家電量販店でも安いものは2千円台からある。
- 番号通知サービス
⇒県外番号なのに我孫子警察を名乗っているなどで警戒できる。

- 実際の詐欺犯がいうセリフをまとめたカードを用意したので、ご自宅で利用いただきたい。
- 我孫子では日に8件以上電話で詐欺があると、防災無線で知らせている。
- 1度見破っても、詐欺グループはたくさんあるので何度もかかってくることもある。
- 民生委員などを語って家族構成を聞き、後日ストーリーを作って詐欺電話が来るパタンもある。
- 詐欺の手口は数えきれないほどあり全ては紹介できないが、気を付けていただきたい。
- その他、千葉県の自転車盗難は今年48件（去年の1.5倍）。多くは自宅の敷地内で盗まれている。

4. グループ討議

【1班】

- 留守番電話設置以外に方法はないものか。
- 電話内容は必ずメモする習慣を作る。
- サギっぽい電話を切る勇気を教える。報復されないか怖いと思っているが、そんな事例はないことをしっかりと知らせる。
- 留守番電話に変えたばかりだが、自己負担＝自助努力することも重要と思う。
- 被害にあって誰にも相談できず自死した知人がいた。被害者の悩みを市に相談する方法や窓口がないか。
- 普段から家族で会話をし、どうするか話し合っておく。
- 息子や娘に電話し、声を確かめておく。
- 留守電などの機械を充実させることが第一、相手と話す时必须騙されると思うこと。
- 商売をしている家なので留守電などには代えられないので、電話には必ず出るが、自分たちで騙されない工夫をしている（合言葉を電話のそばに貼ってある）。
- 家族のふれあいが大切、一緒に食事をしたり習慣が減ってきたなどがあるので、意識的に会話を増やすなどの努力が必要。
- 携帯にも注意が必要で、海外からのワンギリや、メールに返事をしないこと（通信料を取られるので）。
- 学校では生徒のメアドや電話番号保管には十分注意をしている。例えば「イーライブラリー」などを活用して、先生も触れないようになっている。
- 留守電への市の補助金新設など、市政ふれあい懇談会で直接要望してみたい。
- 相手はプロなので、絶対にだまされると思っていたほうが良い。だから留守電などの機械に頼るのが一番良い。

- 高齢者は人と話すことを望んでいて、電話を切るなどはできないので、説明や説得をして留守電に変えることが必要。特に一人暮らしの場合は大切。
- 普段から隣近所と付き合っておくことが重要で、おかしいなと感じたら気軽に相談できる近所関係を作ること。
- 警察からもらったステッカーをポストや玄関に貼るのも効果的と思って実践している（狙う家を足で歩いて探していると考えられるので）。

【3 班】

※各自自己紹介を実施

- 振込詐欺防止対策で、電話に出ないのは良いと思うが、対策の通話録音機がどのような機能が判らない。
- 通話録音機は、最初に「電話詐欺防止のためこの電話は録音しますので予めご了承ください」のアナウンスが流れてから電話のベルを鳴らし、受話器を取ると録音と保存が同時に開始される機能になる。こちらの電話を切る迄録音が保存されるため、再度聞くことができる。アナウンスが出た時点で詐欺の場合は電話を切ってしまうため、電話がかからない事となり詐欺電話があったことが認識されない。
- 録音機で録音した内容は、どうなるか？（漏れる事はないか？）
 - 機械の中にあるので自分で再生しない限り聞くことが出来ない。自分で聞かせない限り漏れる事はない。
- 電話ディスプレイは、何になるのか？
 - 電話に出る前に、誰からかかっているかの確認が出来る。
 - 「我孫子警察と名乗る」が電話ディスプレイが「県外」となるため詐欺を判断できて良いと思う。
- 電話詐欺対策の機械は、市役所の補助はあるのか？
 - 我孫子市では無い。
 - 柏市では購入の半額（上限 1 万円迄）の補助がある。
 - 松戸市では個人負担金 2, 0 0 0 円で取り付けが出来るなどホームページで記載がある。
- この様な情報があることを知りましたが、自治会の皆さんに伝える事が出来ない。
 - 自治会の集まりが積極的でなくなったことや、コロナ過で余計にあつまることが無くなったため情報を伝える事が出来なくなった。市役所や警察で、チラシなどで周知して欲しい。
 - チラシや防災無線などで行っているが、自治会でも回覧などで周知もご協力して欲しい。
- 警察で注意喚起のための、抑止コールを行っているのは知らなかった。どうゆうものか？
 - 詐欺が頻繁している地域や、詐欺被害にあった又は未遂のところなどに電話をしている。
 - 一回詐欺にあつと再度あつ事があるので、注意喚起の為変な電話がありますか？など聞いている。
 - 警察へ電話すれば、本日は何処の地区を抑止コールしているかを知ることができる。
- 詐欺は、事前に地区を廻っている人がいる。
- 訪販カメラなどで抑止できないか？空き巣なども防止できると考える。
 - できれば自治会などで設置の検討をして欲しい。
- 自治会で設置を検討したが補助金が少ないため、自治会などでも金額的にあきらめる人が多い。また、個人的にもプライバシーが侵されるのではとの意見もあり難しい。
 - 家に向けないで、道路にカメラを向けて設置にすれば良いのではとの説得も有と思う。
- 詐欺に逢つた方や詐欺の話をお悩んでいる方に、再度電話があり解消方法をする詐欺もあります。
 - 解消するために、どこそこへ電話してくれとの事で、詐欺被害者が電話するかけ子になる事も発生している。

- 還付金や補助金の詐欺が口うまく誘導し、被害者が他人に迷惑を掛けない様になどの考えを利用した詐欺が多くなっている。
- 固定電話からスマホを利用するように導かれる。詐欺も発生している。
- スマホではどこかに利用者登録をする様に導かれて、電話番号を入手する詐欺も増えている。
 - メールアドレスを取り何かとれんらくするような手段もある。
- 中学校で詐欺の被害などはあるのか？
 - 特にこれといった話はないが、詐欺被害にあう怪しいサイトはアクセスしない様に指導はしている。
- メルカリなどで商品を購入したが、届かない等の例はある。
 - その様な情報をどう伝えるかを検討したい。
- 特に小中学生では、スマホやタブレットなどを利用し、画像を送ってとの話に乗って送ると写真を加工しでばらまくと脅されることが発生している。
- 声掛け事案も発生し置いている。
 - かわいいねとか声をかけ誘って悪さする事もあるので、小中学生の登下校は地域で見守って頂きたい。
- 登下校の通学路は街灯が大体あるが、近道などには街灯がなく暗い所がある。
 - 市役所へ依頼するか、その地区の自治会から市役所へ依頼する事が出来る。
- 地域や自治会からの要望として市役所へ出して頂きたい。自治会からの要望は市役所としても助かる。
- 自分の事は自分で見る事が大切だ。
 - 我孫子市では防災無線が進んでいて、住民の意識も高いと感じる。
 - 行方不明者を通知すると住民の連絡で、何度も発見している。

<3 班まとめ>

- 地域会議での話し合いの情報を各地域に展開することは、大事なことと思う。地域会議などの積極的な参加で情報をつかむ。
- つかんだ情報は、各地区でいかに展開するかを検討する。
- 市役所への陳情や働きかけを、自治会など含め積極的にする。
 - 電話録音機などの購入に対し、補助金を出して頂きたい。
 - 街灯が無い所を確認して、街頭設置を要望する。
- 市政懇談会などに積極的に参加し、意見や要望を市役所へ伝える。
- 小中学生の登下校に何しては、地区住民として見守りを行う。

【4 班】

- 「電話 de 詐欺」って、なんで"de"がローマ字？年寄りにはわかりづらいのでは？
- 葬儀屋／お墓の電話がよくかかってくる。
- 年金で株を買えと言われた。買わないと年金が止められると言われたことがあった。
- 2 回詐欺っぽい電話がかかってきた。固定電話の方にかかってきた。
 - 携帯なくして友達の電話かけている。
 - 会社のお金を使ってしまったので助けてくれ
 ⇒言い方が息子と似ていた。息子にかけなおしたら「なんだ急に？」と言われて詐欺と発覚。
 ⇒普段よくわかっている、実際にかかってくるとアタフタする。

- 海外からかかってくることもある。（日本からの国際電話だと+81 と表示される）
- ソフトバンクを名乗る人から電話がかかってきた。固定電話番号や生年月日などを聞かれたので切った。
- メールで「未払い金¥xxxxxx があります」といった請求が来た。
 - 国税庁（を語って）から「大事なお知らせ」といって URL が送られてきた。
 - 「還付金／払い戻し」は危険
 - お金の払い込みをメールで知らせることはまずない。（通常は郵便）
- 固定電話は、直接出ないのが安全。
 - 最初に留守電に応答させて、応答を聞いてから出るのが防犯になる。
 - 固定電話は不要？ 一人暮らしの方など、持っていない方も多い。
 - 携帯だと非登録番号であれば警戒できる。
 - 固定電話にかかってくる非通知番号は一応警戒した方が良さそう。
- 記載されている URL などにアクセスするとやばそうだ。
 - 有名人やアイドルを語ったメールが来ることがある。
 - 迷惑メールはいくら削除してもどんどん入ってくる。
 - 最近の若い子はメールをほとんど使わない。送っても未読で溜まっていくだけ。
- 今は電話での詐欺手口が問題になっているが、詐欺という犯罪自体なくなることはないだろう。
 - 例えば柏市が防止に力入れると犯人は我孫子に流れる、我孫子が力入れると他の市へ、といった実情がある。
 - 我孫子市としては、情報提供で抑止していくというやり方を行っていきたい。
- 前回もらった詐欺防止ステッカーを張っていたら、巡回のお巡りさんに感謝された。
 - 下見をする犯人は、「この家は警察とつながっている」と考えるようだ。
 - たとえ 1 件だけが貼っていても、その地域全体を警戒するようになるらしい。
 - 空き巣も同様に、「千葉県警察」というロゴを見るだけでドキッとする。
- 高齢者が多い地域だと、人通りが少ない。
 - ウォーキングを奨励して外を歩くようにすると、健康にも良いしいことづくめ。
 - まち協で歩数計ランキングなどのイベントを計画して、商品出すのもいいかも？
 - 夜暗いのは良くないので、駐車場に照明つけるのも防犯に役立つ。
- コロナで自治会のイベントがなくなり、顔を合わせる機会が減った。
 - 回覧板はポスティングではなく、ピンポンして直接手渡すようにしている。
 - 団地内でも、造成当初の家は良く知っているけれど建て替わりで入ってきた人たちと交流がない。

5. まとめ

<地域会議事務局長>

今回も皆さんとても有効なお話し合いができたようで大変良かったと思います。このような話し合いを今後も継続していくことが大事なのかなと思います。また 20 回新木防災の意見をまとめたものをお配りしていますので、ご覧になった感想やご意見をいただきたいと思います。

今後も地域のコミュニケーションの推進を行っていきますので、今後ご参加ご協力をお願いいたします。ありがとうございました。